

市内の2トマト生産組合長が市長を表敬訪問しました

中津川市の主要品目である「夏秋トマト」の市場出荷が始まったことから、中津川市夏秋トマト生産組合長と、恵那北トマト生産組合長が市長を表敬訪問し、それぞれの主力品種となるトマトを贈呈しました。

■日時・場所 令和3年7月2日（金曜日）11時00分から
中津川市役所 市長公室（本庁舎3階）

■訪問者

中津川市夏秋トマト生産組合 組合長 にむら 二村 たいじゅ 泰樹（主力品種：れいか麗夏）
恵那北トマト生産組合 組合長 はら 原 よしみ 良美（主力品種：れいげつ麗月）
（随行者）
東美濃農業協同組合 常務理事 後藤 芳弘
〃 営農部営農販売戦略課 課長 伊藤 淳介
（東美濃農業協同組合営農部 連絡先 0573-78-0137）

■贈呈内容 トマト（れいか麗夏、れいげつ麗月） 4kg入り1箱ずつ

■販売情勢等

- ・冬春トマトの出荷も終わり、市場では夏秋トマトの出荷が待望されている。
- ・市内の2選果場は、中津川選果場が6月14日から、加子母選果場が6月28日から稼働しているが、出荷が本格化するの7月中旬からの見込み

組合名	組合員数	栽培面積 (ha)	目標販売数量 (kg)
中津川市夏秋トマト生産組合	22名	2.84	249,920
恵那北トマト生産組合	65名	11.48	1,164,163
合計	87名	14.32	1,414,083

■意見交換の様子

原組合長）

- ・日頃組合に対し助成等協力いただき感謝している。今後ともよろしくお願ひしたい。

二村組合長）

- ・早い梅雨で病気等心配したが、安定してトラブルもなく生育している。しかし、日照不足の影響はあり、これからの雨の状況が心配される。
- ・若い生産者が少ない状況であったが、トマトの研修施設ができ、若い就農者が増加しているのがありがたい。

市長）

- ・他の産地よりおいしいと胸を張って言える中津川市のトマトが、これから市場に出ていくのは楽しみです。頑張る生産していただきたい。

お問い合わせ先

農林部 農業振興課 担当者：内木
電話：0573-66-1111（内線269）